

地球温暖化対策実施状況書

1 地球温暖化対策事業者の概要

地球温暖化対策事業者 (届出者)の名称	三井住友信託銀行株式会社
地球温暖化対策事業者 (届出者)の住所	東京都港区芝三丁目33番1号
工場等の名称	三井住友銀行名古屋ビル
工場等の所在地	愛知県名古屋市中区錦二丁目18番19号
業種	不動産業、物品賃貸業
業務部門における 建築物の主たる用途	事務所
建築物の所有形態	賃貸ビル等(賃貸している建築物)
事業の概要	賃貸ビル
計画期間	令和4年4月1日 ～ 令和7年3月31日

2 地球温暖化対策実施状況書の公表方法等

公表期間	令和6年7月31日 ～ 令和6年10月29日		
公表方法	○	掲示 閲覧	(場所) 地下2階 サービスセンター(中央監視室)
		ホームページ	(HPアドレス)
		冊子	(冊子名・ 入手方法)
		その他	(その他詳細)
公表に係る問合せ先	052-203-8188		

3 地球温暖化対策の推進に関する方針及び推進体制

(1) 地球温暖化対策の推進に関する方針

私たちは、地球温暖化対策をはじめとする環境保全の重要性を認識し、事業活動のあらゆる分野を通じて、持続的発展が可能な社会の実現に貢献します。

- 1 環境施策の継続的な改善を図ります。
- 2 省資源・省エネルギーの活動を推進します。
- 3 廃棄物の発生を抑制し、リサイクルを推進します。
- 4 従業員への環境教育を実施します。

(2) 地球温暖化対策の推進体制

(対策推進体制)

東西建築サービス株式会社

名古屋営業所 所長 (推進員)

↓

統括責任者

↓

設備員、警備員、清掃員

↓

当ビルテナント入居者

指針第2号様式

4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 2 年度目（令和 5 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		1,464	t-CO ₂
（温室①を酸効果除去炭素換算）	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）		1,464	t-CO ₂

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量
------------------	------

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度			
温室効果ガス総排出量	1,724	t-CO ₂	1,698	t-CO ₂	1,483	t-CO ₂	1,464	t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対基準年度）			1.5	%	14.0	%	15.1	%		%
温室効果ガスみなし総排出量						t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対基準年度）						%		%		%

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度			
原単位あたりの排出量										
削減率（対基準年度）				%		%		%		%
原単位あたりのみなし排出量										
削減率（対基準年度）						%		%		%

（2）進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

照明器具更新とパッケージ空調機更新が完了し、前年とほぼ同じ数値となった。
来年度以降は機器更新等の大きく削減できる要素はないため、毎日の熱源等を含む空調設備の細かい管理が必要になってくる。

備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。

備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。

備考3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。

備考4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
一般管理／エネルギー 使用量等の把握 及び管理	・エネルギー使用量の把握・計測・記録・分析 ・使用実態を見える化 ・空調熱源機器の運転スケジュール等の標準化	・設備員の全員がスケジュールの設定・変更・確認をできるようにする。	・ほとんどの者がスケジュール運転管理・変更が可能になった。 ・入居テナントの空調に関する意見をQRコードを活用した温度・風量設定に反映させた。
省エネルギー・ 省資源 の推進／冷暖房	・ブラインドの活用 ・夏季のナイトバージの導入による冷房開始時の負荷軽減 ・窓際空調機を省エネタイプへ更新。	・令和6年度までにパッケージ空調機と窓際空調機をすべて省エネタイプに更新する。	・共用部・専用部内のブラインドの活用推進。 ・外気冷房の推進。 ・令和4年度、令和5年度にてパッケージ空調機と窓際空調機を省エネタイプに更新済み
省エネルギー・ 省資源 の推進／点検及 び運転管理の適 正化	・中間期等は積極的な外気の導入により、空調機又は熱源機の運転時間を削減（外気冷房の活用） ・室内環境に合わせ、熱源機器や加湿機器の間欠運転を実施	・令和6年度までにエレベーターホールガラス面に遮熱用のブラインドを取付ける。	・年々中間期と言える時期が少なくなっているが外気導入を積極的に利用。 ・令和5年度にエレベーターホールに遮熱用ブラインド取付済み
省エネルギー・ 省資源 の推進／照明	・テナント・共用部蛍光灯を順次LEDタイプの照明器具へ更新 ・誘導灯を順次LEDタイプに更新	・不必要な照明の消灯を徹底する。 ・令和6年度までに全てLEDに更新する。	- 共用部の照明については無駄な点灯を極力無くした。 ・令和4年度にテナント及び共用部LEDタイプ照明器具更新済み
省エネルギー・ 省資源 の推進／その他	・夏季のトイレ洗面の温水器停止 ・デマンド契約値の削減 ・空調機の定期的なフィルター交換の実施	夏季の手洗い水栓や便座の温水を停止する。	・夏季は出来る限り手洗い・便座・洗浄水の温水を停止。 ・令和6年度からデマンド契約値を低減する契約を締結済み
廃棄物の抑制	・シュレッダー・雑紙類の分別化 ・コピー用紙の効率化（両面コピー・裏紙使用）	・両面コピー、裏紙再利用によるコピー用紙の削減 ・オフィス古紙のリサイクル推進	・可能な限り両面コピー ・会議打合せなど資料についてはペーパーレス化を実施。

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 2 年度目（令和 5 年度）における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区 分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
電 力		t-CO ₂
熱		t-CO ₂

(3) 環境価値（クレジット等）の活用状況

計画期間 2 年度目（令和 5 年度）におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量（みなしの削減量）の合計

t-CO ₂

(5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

昨年引き続き、テナント階のトイレ清掃時に交換した使い古しのトイレットペーパーをビルスタッフ専用（男女）トイレで再利用している。

(6) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

--